



## 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社大阪チタニウムテクノロジーズ  
 コード番号 5726 URL <http://www.osaka-ti.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西澤 庄藏

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 島本 信英

TEL 06-6413-3310

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第1四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	10,968	△32.2	1,183	△31.7	1,222	△18.5	723	△20.7
25年3月期第1四半期	16,179	34.1	1,734	3.8	1,499	1.0	912	9.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	19.67	—
25年3月期第1四半期	24.80	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	123,512	44,702	36.2
25年3月期	127,448	44,129	34.6

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 44,702百万円 25年3月期 44,129百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	15.00	—	5.00	20.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成26年3月期末の配当予想は未定です。

### 3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	21,700	△27.6	△400	—	△1,200	—	△800	—	△21.74
通期	45,600	△18.4	300	△92.7	△1,100	—	△900	—	△24.46

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は【添付資料】P.4「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 有  
④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は【添付資料】P.4「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	36,800,000 株	25年3月期	36,800,000 株
26年3月期1Q	1,194 株	25年3月期	1,194 株
26年3月期1Q	36,798,806 株	25年3月期1Q	36,798,806 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期におけるわが国経済は、金融緩和をはじめとした経済政策による円安の進行等により景気持ち直しの兆しが見られたものの、電気料金の値上げや新興国の経済成長鈍化等により、依然として先行きは不透明な状況にあります。

当社事業につきましては、チタン事業では、輸出向けにおいて航空機の製造は堅調に推移しているものの、前年後半から顕著になったサプライチェーン内での在庫調整やスクラップ配合増加の動きが続いており、また国内向けでも一般産業向け全体の需要低迷に加えユーザーでの在庫調整が継続いたしました。これを受け本年4月からスポンジチタンの減産を一段と強化いたしました。この結果、チタン事業の売上高は6,376百万円(前年同期比40.9%減)となりました。

ポリシリコン事業では、半導体分野での需給調整継続により生産・販売量が減少し、売上高は4,234百万円(前年同期比12.8%減)となりました。

高機能材料事業では、液晶分野でのTILOP(タイロップ)、半導体向けの高純度チタンの販売減により、売上高は357百万円(前年同期比32.4%減)となりました。

以上の結果、当第1四半期の売上高は10,968百万円(前年同期比32.2%減)、利益につきましては、営業利益1,183百万円(同31.7%減)、経常利益1,222百万円(同18.5%減)、四半期純利益723百万円(同20.7%減)となりました。

		当第1四半期	前年同期	増減率 (%)
チタン事業	国内	3,113	4,736	△34.3
	輸出	3,263	6,060	△46.2
	計	6,376	10,796	△40.9
ポリシリコン事業		4,234	4,854	△12.8
高機能材料事業		357	529	△32.4
合計		10,968	16,179	△32.2

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

① 資産

当第1四半期末の総資産の残高は、123,512百万円と前事業年度末と比べ3,935百万円減少いたしました。これは、棚卸資産は増加したものの、売掛金及び有形固定資産が減少したことが主な要因であります。

② 負債

当第1四半期末の負債の残高は、78,810百万円と前事業年度末と比べ4,509百万円減少いたしました。これは、借入金及び未払法人税等が減少したことが主な要因であります。

③ 純資産

当第1四半期末の純資産の残高は、44,702百万円と前事業年度末と比べ573百万円増加いたしました。これは、配当金の支払による減少があったものの、四半期純利益により利益剰余金が増加したことが主な要因であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2013年4月26日発表の第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### ①一般債権の貸倒見積高

前事業年度末に算定した貸倒実績率と著しい変動がないと認められるため、当第1四半期末において、前事業年度の財務諸表作成で使用した貸倒実績率を用いて算定しております。

#### ②棚卸資産の評価方法

前事業年度末の実地棚卸高を基礎として継続記録法により棚卸高の算定をしている棚卸資産については、当第1四半期末の実地棚卸を省略しております。

#### ③税金費用

年間の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、繰延税金資産の回収可能性の判断に関しましては、前事業年度に対し一時差異、経営環境等に著しい変化がある場合においてはその影響を加味しております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (会計上の見積りの変更)

当社のポリシリコン製造設備について、岸和田工場の生産能力増強投資を中心とした大型設備投資の実施を契機として製造設備全体の物理的耐用年数を精査した結果、耐用年数を7年から12年に見直し、将来にわたり変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期累計期間の営業利益が374百万円、経常利益及び税引前当期純利益がそれぞれ397百万円増加しております。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (2013年3月31日)	当第1四半期会計期間末 (2013年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,421	4,098
受取手形及び売掛金	19,361	14,414
商品及び製品	12,787	14,444
仕掛品	5,197	5,302
原材料及び貯蔵品	9,778	10,340
その他	1,535	1,395
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	52,079	49,990
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	15,477	15,298
機械及び装置(純額)	38,271	36,640
土地	16,279	16,279
建設仮勘定	987	963
その他(純額)	1,356	1,378
有形固定資産合計	72,371	70,560
無形固定資産	1,292	1,294
投資その他の資産	1,705	1,667
固定資産合計	75,369	73,521
資産合計	127,448	123,512

(単位:百万円)

	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (2013年3月31日)	当第1四半期会計期間末 (2013年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,895	6,830
短期借入金	32,350	28,350
リース債務	1,417	1,138
未払法人税等	1,307	444
賞与引当金	362	91
設備関係支払手形	130	135
設備関係未払金	703	625
その他	862	1,431
流動負債合計	44,029	39,046
固定負債		
長期借入金	36,500	37,000
リース債務	4	4
退職給付引当金	1,416	1,432
資産除去債務	1,246	1,252
その他	122	73
固定負債合計	39,290	39,763
負債合計	83,319	78,810
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,739	8,739
資本剰余金	8,943	8,943
利益剰余金	26,499	27,039
自己株式	△9	△9
株主資本合計	44,172	44,712
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	89	92
繰延ヘッジ損益	△132	△102
評価・換算差額等合計	△43	△9
純資産合計	44,129	44,702
負債純資産合計	127,448	123,512



(2) 四半期損益計算書  
第1四半期累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自2012年4月1日 至2012年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2013年4月1日 至2013年6月30日)
売上高	16,179	10,968
売上原価	12,836	8,419
売上総利益	3,342	2,548
販売費及び一般管理費	1,608	1,365
営業利益	1,734	1,183
営業外収益		
受取利息及び配当金	1	0
為替差益	—	203
不用品売却益	36	40
受取賃貸料	10	12
助成金収入	46	—
その他	31	6
営業外収益合計	125	264
営業外費用		
支払利息	144	140
為替差損	209	—
休止固定資産減価償却費	—	80
その他	5	4
営業外費用合計	359	225
経常利益	1,499	1,222
特別損失		
固定資産除却損	26	55
ゴルフ会員権評価損	0	—
特別損失合計	27	55
税引前四半期純利益	1,472	1,166
法人税等	559	442
四半期純利益	912	723

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自 2012年4月1日 至 2012年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	チタン事業	ポリシリコン事業	高機能材料事業	
売上高				
外部顧客への売上高	10,796	4,854	529	16,179
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	10,796	4,854	529	16,179
セグメント利益	1,503	164	67	1,734

(注) セグメント利益と四半期損益計算書上の営業利益とに差額は生じておりません。

当第1四半期累計期間(自 2013年4月1日 至 2013年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	チタン事業	ポリシリコン事業	高機能材料事業	
売上高				
外部顧客への売上高	6,376	4,234	357	10,968
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	6,376	4,234	357	10,968
セグメント利益又は損失(△)	396	814	△27	1,183

(注) 1. セグメント利益又は損失と四半期損益計算書上の営業利益とに差額は生じておりません。

2. 「会計上の見積りの変更」に記載のとおり、当社のポリシリコン製造設備について、岸和田工場の生産能力増強投資を中心とした大型設備投資の実施を契機として製造設備全体の物理的耐用年数を精査した結果、耐用年数を7年から12年に見直し、将来にわたり変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期累計期間の「ポリシリコン事業」のセグメント利益が374百万円増加しております。